

## 令和5年度発達障害基礎講座

# アーチルの役割と本人が地域 で暮らすための連携・協働し た支援について

南部発達相談支援センター  
所長 大石 葉子



# 説明の流れ

- 1 アーチルの概要と支援の考え方
- 2 アーチル相談の現状と課題
- 3 地域で暮らすための支援

～連携・協働～



# 1. アーチルの概要と支援の考え方

# 発達相談支援センター(アーチル)とは

○発達障害※のある本人とその家族が対象

※ 知的障害, 重症心身障害, 自閉スペクトラム症

ADHD(注意欠陥多動性障害), LD(学習障害)、トゥレット症候群、吃音など

○「早期出会い」と乳幼児から成人までの「生涯ケア」  
をめざす仙台市直営の相談機関

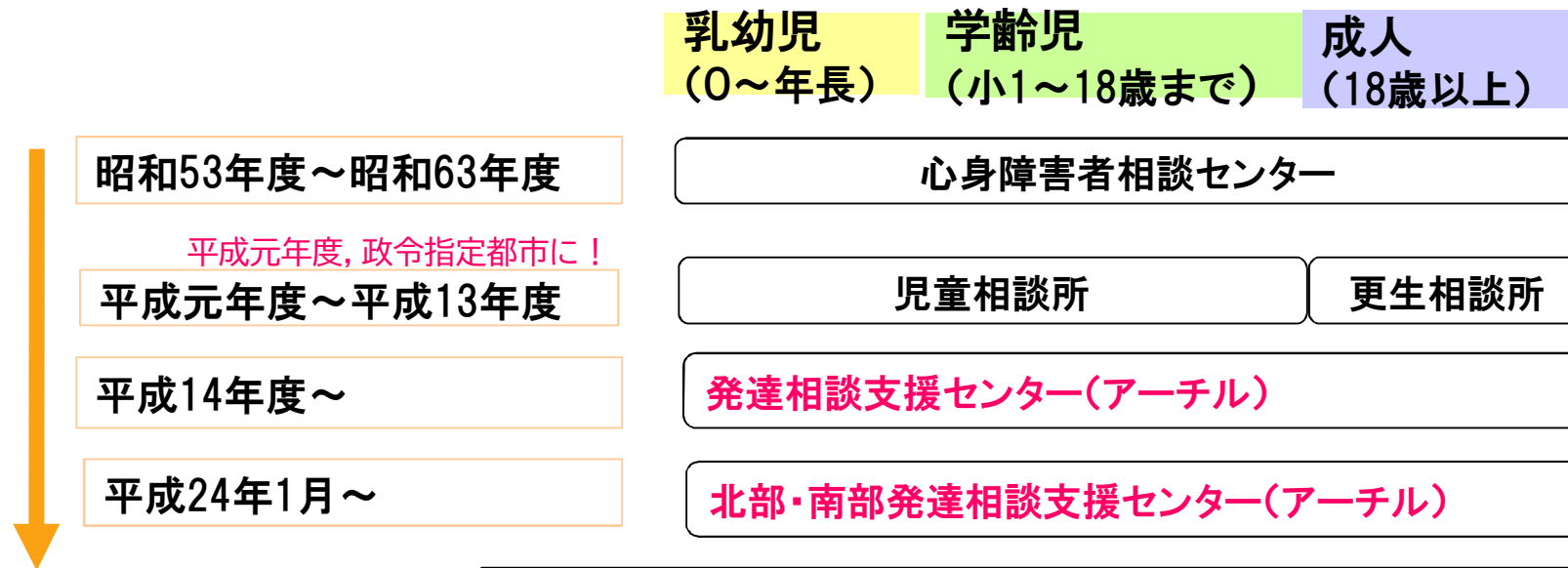
本人・家族とともに

- 発達相談(療育)
- 地域での相談支援

地域・市民とともに

- 市民への普及・啓発
- 地域との連携・協働

# 発達相談支援センター アーチルとは



アーチルの  
「3つの機能」

## ①児童相談所の一部業務

- ・ 障害児に関する相談・調査・判定・指導

## ②知的障害者更生相談所

- ・ 知的障害者に関する専門的相談・指導  
および関係機関の支援

## ③発達障害者支援センター

- ・ 発達障害者に対する専門相談支援

④診療所機能  
(H30年度より  
常勤医)

# アーチルの組織



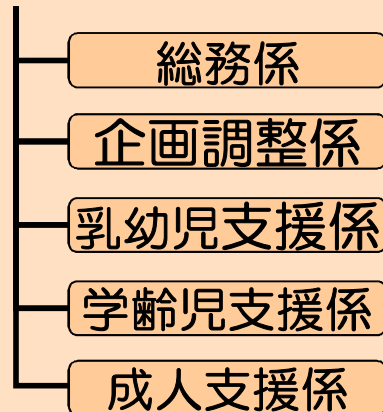
北部アーチル  
(平成14年4月開所)

場 所：泉区泉中央  
担当区：青葉区  
宮城野区  
泉区

場 所：太白区長町南  
担当区：若林区  
太白区

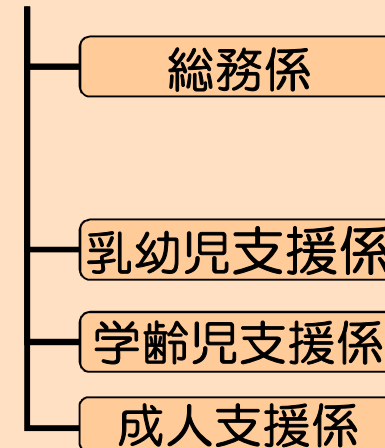


南部アーチル  
(平成24年1月開所)



職員数 (会計年度任用含む)  
北部 79名  
南部 50名

医師(南北兼務※)  
常勤 2名  
非常勤 11名



「アーチル」という愛称は、「アーチ(橋)」と「パル(仲間)」をかけたものです。  
障害のある方と市民の「架け橋」になるようにとの願いが込められています。

# アーチルの支援対象

従来の障害者福祉の  
対象

- 知的障害

(知的障害を伴う自閉スペクトラム症なども含む)

- 身体障害

(18歳までの脳性麻痺や二分脊椎など)

- 重症心身障害

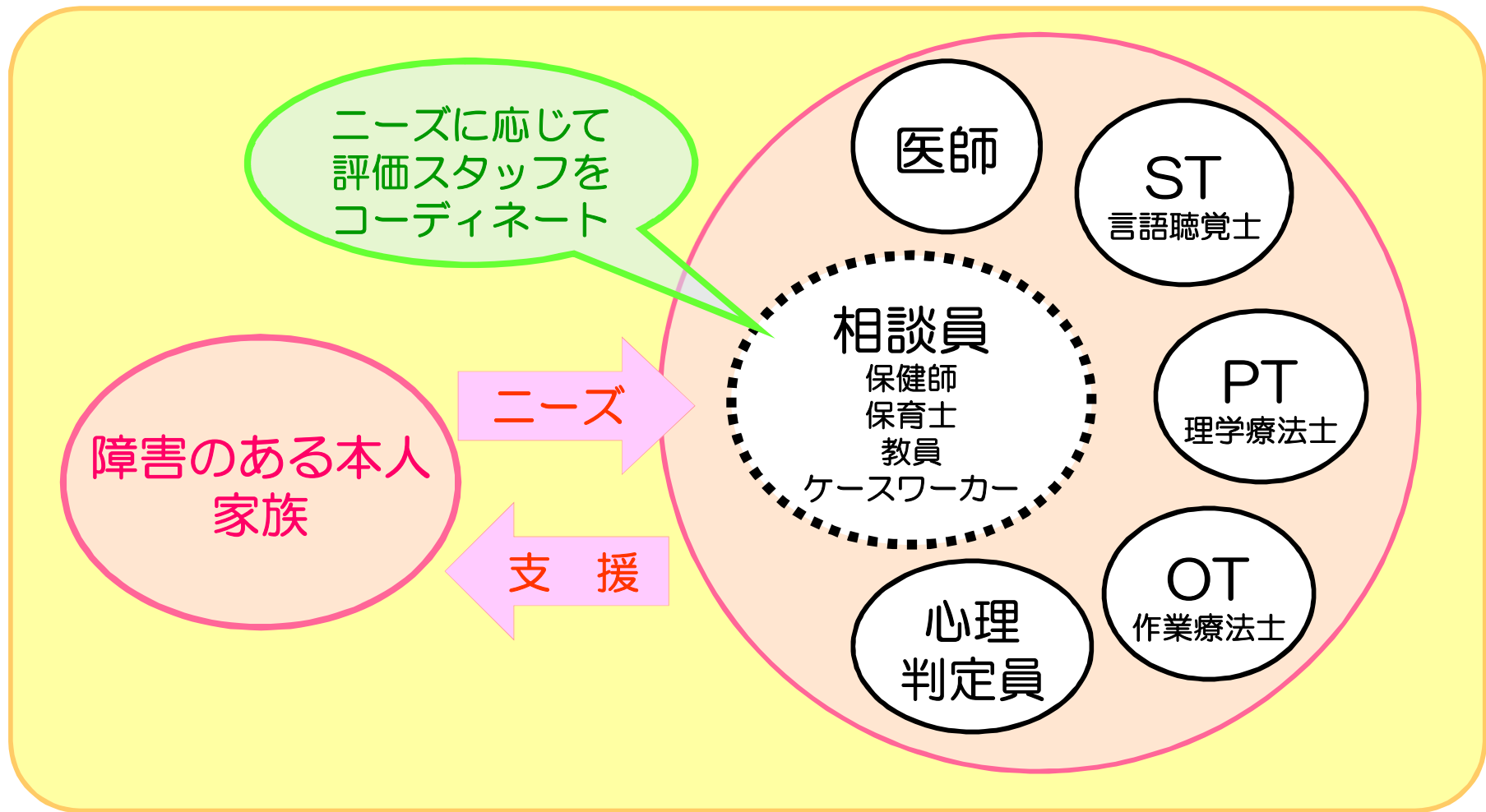
## 知的障害を伴わない発達障害

ASD(自閉スペクトラム症)、ADHD(注意欠陥多動性障害)

LD(学習障害)、トゥレット症候群、吃音など

アーチル開所以降  
全ライフステージに  
わたって相談増加

# チーム・アプローチ







# アーチルの業務

## ① 個別相談（新規・継続）

乳幼児相談 学齢児相談 成人相談

## ② 療育支援

初期療育グループ

## ③ 地域生活支援

関係機関や支援施設のバックアップ

自閉症児者相談センターや地域活動推進センター等との連携

## ④ 判定・措置

## ⑤ 普及啓発・広報（機関紙や啓発冊子の発行等）

## ⑥ 人材養成（各種セミナーや研修講座の開催）

# 生涯を通じた支援

将来の自立した生活を見据えて ～支援の基本的な考え方～

